パーソナル・デジタルテレビ BTV-1020

かんたん操作ガイド

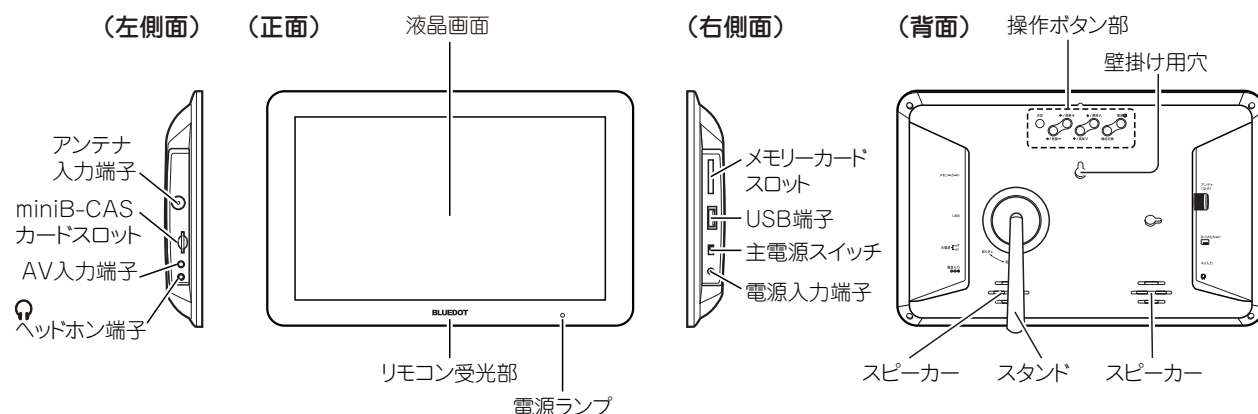
取扱説明書

BLUEDOT®

本機は日本国内の地上デジタル放送(フルセグおよびワンセグ)に対応したテレビ受像機です。他国ではご利用いただけません。

この取扱説明書、保証書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。

本体と付属品 内容物をご確認ください。

- テレビ本体............1台

- リモコン....1個
- ACアダプター....1個
- AVケーブル....1本
- アンテナケーブル....1本
- 外付けアンテナ(ワンセグ用)....1本
- 取扱説明書(本書)....1部
- 保証書....1枚
- miniB-CASカード....1枚

注意
- 本書ではリモコン操作を中心に記載していますが、同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。
- 本体背面の壁掛け用穴を利用すれば、本機を壁に掛けることができます。壁掛けにあたってはフックの耐荷重に十分ご注意ください。またフックを穴に深く差し込むと内部の回路を損傷する恐れがありますのでご注意ください。

もくじ

① 地デジとは..3
② ワンセグとは......................................3
③ B-CASカードを挿入する...........................4
④ テレビを設置する..................................4
⑤ アンテナと電源を接続する........................5
⑥ リモコンの準備....................................5
⑦ 電源をオンにする..................................6
⑧ 機能を切り換える..................................6
⑨ チャンネルを設定する.............................7
⑩ テレビを観る.......................................8
⑪ 便利な機能...9
⑫ フォトフレームとして使用する...................10
⑬ いろいろな再生....................................11
⑭ 対応フォーマット..................................12
⑮ 外部入力の映像を表示する.......................12
⑯ 時計/カレンダーを表示する.......................13
⑰ タイマーを使用する................................13
⑱ 各種設定を行う.....................................14
故障かな?と思ったら.................................17
製品仕様...19

◆ 取扱説明書の内容、本機および付属品の外観、機能、仕様などは、改善のため将来予告なく変更することがあります。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例	
	記号は、禁止される行為を表しています。
	記号は、行わなければならないことを表しています。

警　告

煙が出たり、変なにおいや音がしたりするなどの異常が見つかったら、すぐに電源プラグを抜く。

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですのでおやめください。

内部に水や異物を入れない。入ったときは、すぐに電源プラグを抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですのでおやめください。

指定以外の電源で使用しない。
火災・感電の原因となります。

電源コード、アンテナケーブルを破損しないようにする。
火災・感電の原因となります。

電源プラグの付着物は取る。
プラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。火災・感電の原因となります。

電源プラグはきちんと差し込む。傷んだプラグは使わない。
差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となります。

分解、改造を行わない。
内部の部品に直接触れると、火災・感電・けがの原因となります。

雷が鳴り始めたら電源プラグやアンテナケーブルに触れない。
火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室、キッチンなど湿気や油煙の多いところで使用しない。
火災・感電の原因となります。

異常に温度が高くなる場所や寒暖差の激しい場所に置かない。
火災・感電・故障の原因となります。

本機を落としたり大きな衝撃を与えたりしない。
電源プラグをコンセントから抜いた上で、弊社サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注　意

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない。
電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で触れない。
感電の原因となることがあります。

過度のたこ足配線をしない。
火災・感電の原因となることがあります。

大きな衝撃をあたえない。
液晶画面が割れたり、本機が故障・破損する原因となります。

本機を布などで覆わない。
本機の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となります

移動するときは本機に接続されているすべての配線を取り外す。
けが・故障の原因となることがあります。

長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池について安全上の注意

電池は乳幼児の手の届く場所に置かない。
電池は飲み込むと窒息や内臓への障害の原因となることがあります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電したりしない。
破裂・発熱・発火・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

指定以外の電池を使わない。
破裂・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

使い切った電池はすぐにリモコンから取り出す。
そのままリモコンの中に放置すると破裂・発熱・発火・液漏れなどを起こし、けが・火傷の原因となります。

電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。
液が目の中に入ったときや体や衣服についたときは直ちに水道水などのきれいな水で洗い、すぐ医師にご相談ください。

ご使用に関する注意

お手入れ
お手入れにはベンジンなどの化学薬品を使わないでください。表面が変質する原因となります。汚れが付いた場合は柔らかい布で拭いてください。油汚れの場合は、薄めた中性洗剤にやわらかい布を浸して固く絞り、軽く拭いてください。

結露について
寒い場所から温かい場所へ急に移動し急激な温度変化を与えたり、本機を湿気の多い場所に置いたりすると、湿気が本体の表面や内部に結露することがあります。このまま電源を入れると故障の原因となりますので、本機の電源を入れずに放置し、結露を蒸発させてからご使用ください。

視聴時の注意
暗い場所で視聴したり、長時間にわたって画面を見続けたりすると、目の疲れや視力低下につながることがあります。暗所での視聴や長時間の視聴は避け、身体に不快感や痛みを覚えたときは視聴をやめて休息を取ってください。また、視聴時はスピーカーやヘッドホンの音量を上げすぎないよう注意してください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

仕様上の注意

◆ 液晶パネルは高い精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも不良ではありませんので、あらかじめご了承ください。

◆ バックライトには寿命があります。非常に暗い、点灯しないなど、著しい異常が認められた場合は修理をおすすめいたします。なお、バックライトは消耗品のため、劣化による修理は保証期間内であっても保証対象外となります。あらかじめご了承ください。

◆ 本機を他のテレビやラジオなどの電気機器に隣接して設置した場合、映像や音声に雑音が入るなど、互いの性能に悪影響を及ぼす可能性があります。できるだけ両者を遠ざけるなどの対策を講じてください。

補償について
何らかの不具合/故障などによって生じた、データやその他の損失、および直接的・間接的な損害について、弊社では一切の責任を負うことができません。本機を修理に出されたときも同様です。あらかじめご了承ください。

保証修理/交換
保証期間内であっても、本書や取扱説明書、保証書、背面印刷などに記載されている注意事項に沿わない使い方をされたことが原因で故障や破損などが起きた場合、弊社では一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。

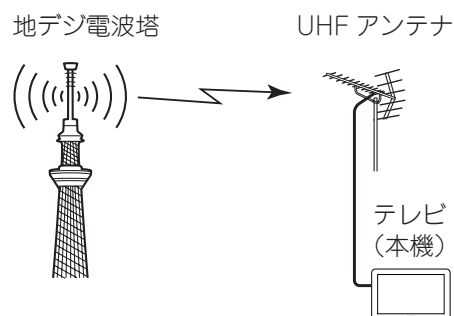
本機を廃棄する場合は、家電リサイクル法に従ってください。

①地デジとは

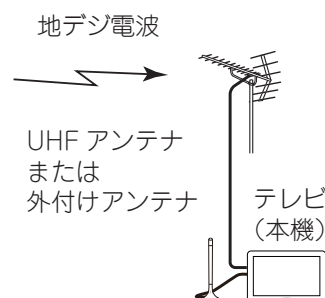
地デジ電波塔　UHF アンテナ　テレビ（本機）

地上デジタル放送の略称です。2011 年7 月24 日をもって、従来の地上アナログ放送は終了し、地上テレビ放送は地上デジタル放送に移行しました。据置型テレビを前提とした一般的な地上デジタル放送は通称「フルセグ」とも呼ばれ、従来のアナログ放送に比べて高精細でゴースト（多重映り）のないクリアな映像を楽しむことができます。電子番組表の表示や複数字幕・複数音声の切り換えといった、これまでにない新しいサービスも提供しています。

* 本機は「BS デジタル放送」や「110 度CS デジタル放送」など衛星放送の受信には対応していません。

* 本機はフルセグ放送の「データ放送」や「双方向サービス」には対応していません。

②ワンセグとは

地デジの放送波の一部（1 セグメント）を使って提供されている携帯機器向け放送の名称です。小型のディスプレイで視聴していることを前提にしているため、フルセグよりも画面の精細度や動きの滑らかさは低くなりますが、電波の弱いところでも比較的受信しやすいという特徴を備えています。放送内容は基本的にフルセグと同じですが、時間帯によってはフルセグと異なる独自番組を提供している放送局もあります。

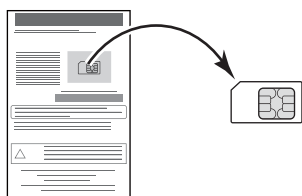
* 本機はワンセグ放送の「データ放送」や「双方向サービス」には対応していません。

注意

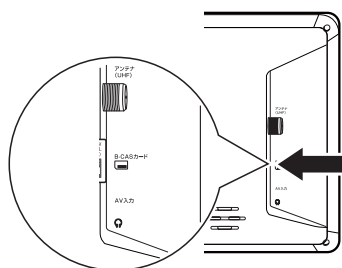
- **地上デジタル放送のフルセグ放送を受信するためには、ご自宅の建物に地上デジタル放送を受信可能なUHF アンテナが設置されているか、ケーブルテレビ局が「CATV パススルー方式」で地上デジタル放送を再送信していることが必要です。**
- **電波が弱い場所では増幅器（ブースター）を利用すると改善する場合があります。放送局の近くなど、電波が強すぎる場合は減衰器（アッテネーター）をご利用ください。**
- **次の場所や地域では受信できない可能性があります。**
  - **（1）電波塔から遠い場所、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所、室内アンテナや付属の外付けアンテナでの受信など、電波が弱いまたは不安定または届かない場合。**
  - **（2）妨害波や電磁雑音が多い場合。**
- **地上デジタル放送の知識や視聴できる地域に関する情報は「社団法人 デジタル放送推進協会（Dpa）」までお問い合わせください。**
  Dpa ホームページ：http://www.dpa.or.jp/
  総務省 地デジコールセンター：0570-07-0101（ナビダイヤルをご利用になれない場合は：03-4334-1111）

本機は「フルセグ」と「ワンセグ」を切り換えることができます。

①自動切換（工場出荷時）	：	電波の受信レベルに応じてフルセグとワンセグを切り換えます。受信レベルが低くなると自動的にワンセグに切り換わります。
②フルセグのみ	：	フルセグ放送のみを受信します。高精細な映像をお楽しみいただくことができますが、安定した強い電波を必要とするため、壁面のアンテナ端子と本機をアンテナケーブルで接続してご使用になられることをおすすめします。
③ワンセグのみ	：	ワンセグ放送のみを受信します。電波の届きやすい場所では、室内アンテナや付属の外付けアンテナで受信できる可能性があります。

③ B-CASカードを挿入する

1 B-CASカードの台紙の内容を一読し、同意された上でB-CASカードを外す

B-CAS カード台紙

2 B-CASカードを正しい向きで確実に挿入する

注意

- B-CASカードの金属端子には触れないでください。
- B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷つけたり、濡らしたりしないでください。
- B-CASカードを分解したり、加工したりしないでください。
- B-CASカード以外のものを本機に挿入しないでください。
- B-CASカードをスムーズに挿入できないときは無理矢理押し込まず、ゆっくりと入れ直してください。
- 本機を使用中にB-CASカードを抜き差ししないでください。
- B-CASカードを抜く場合は、テレビの電源をオフにしてからACアダプターを外し、一度カードを押し込んでからゆっくり引き抜いてください。

破損・紛失などによりB-CASカードの再発行が必要な場合は…

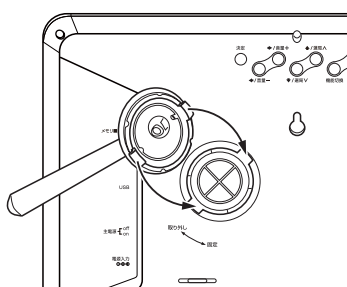
詳しくは、B-CASカードの台紙に記載のある「B-CASカスタマーセンター」にご連絡ください。なお、再発行に当たっては別途料金が必要になります。

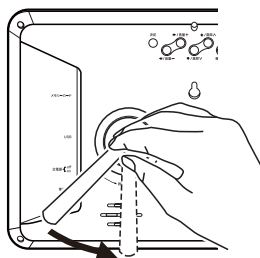
B-CASカスタマーセンター：0570-000-250
（ナビダイヤルをご利用になれない場合は：045-680-2868）

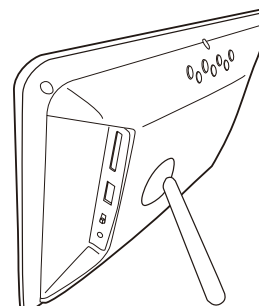
※その他、B-CASカードに関するお問い合わせはB-CASカスタマーセンターにご連絡ください。

④ テレビを設置する

1 スタンドを取り付ける

凹凸に合わせるようにして
スタンドを本体にはめ込みます

2 スタンドを固定する

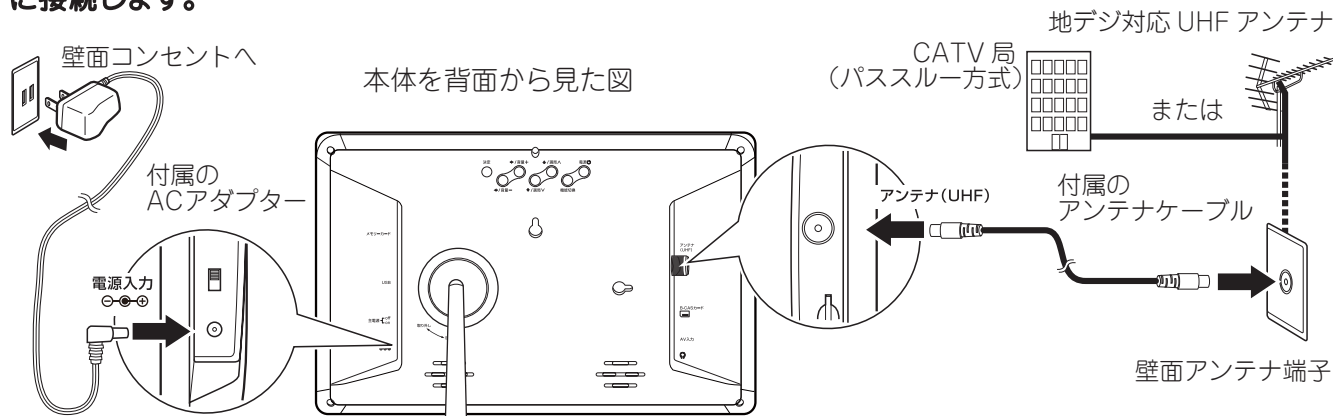
スタンドの根元を持ち、カチッとはまるまで「固定」の方へ回す

回しすぎに注意！！

3 テーブルなど台の上に設置する

注意

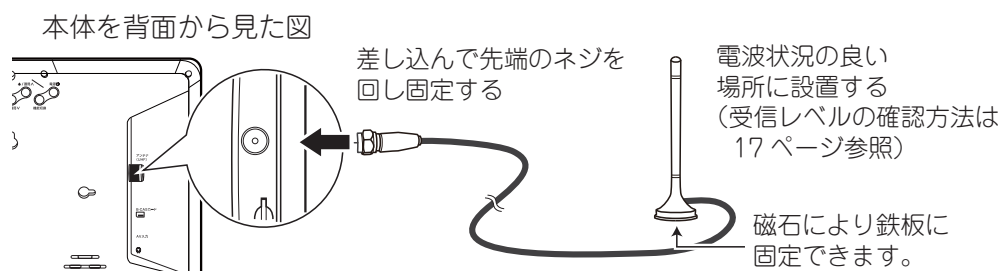
- スタンドの固定／取り外しにあたってはスタンドの根元を持ち、ゆっくり行ってください。
  力を入れすぎたり、回しすぎたりするとスタンドが破損します。
- 不安定な場所に置かないでください。落下・転倒などによりけがや破損の原因となります。
- 本体に上から強い力を加えると、スタンドが破損したり設置面に傷が付く恐れがあります。
- 材質によっては設置面に傷が付く恐れがあります。

⑤ アンテナと電源を接続する

下図のようにアンテナケーブルを接続したあと、付属のACアダプターを本体の電源入力端子（12V）に接続します。

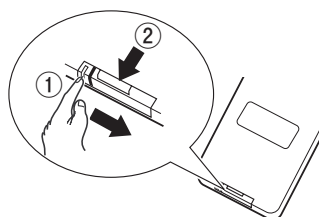
壁面コンセントへ
付属の
ACアダプター
電源入力
本体を背面から見た図
CATV局
（パススルー方式）
地デジ対応 UHF アンテナ
または
アンテナ（UHF）
付属の
アンテナケーブル
壁面アンテナ端子

注意
- 1つのアンテナ端子に複数のテレビを接続する場合は、市販の分配器をご利用ください。
- アンテナケーブルを購入される際は、太く短いものをおすすめします。ケーブルが長くなるほど信号が弱まります。

付属の外付けアンテナで視聴する

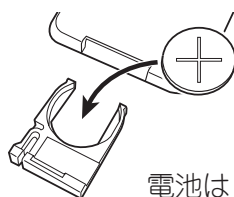
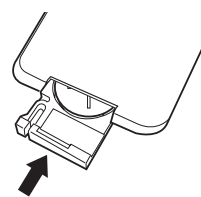
本体を背面から見た図
差し込んで先端のネジを
回し固定する
電波状況の良い
場所に設置する
（受信レベルの確認方法は
17 ページ参照）
磁石により鉄板に
固定できます。

ワンセグ視聴用のアンテナとしてお使いください
電波状況が非常に良くないと地上デジタル（フルセグ）放送は受信できません。

注意
- 電波状況が悪い場合は受信できません。他の機器で受信できても本機で受信できるとは限りません。
- 安定して受信するためには壁面アンテナ端子への接続をおすすめします。

⑥ リモコンの準備

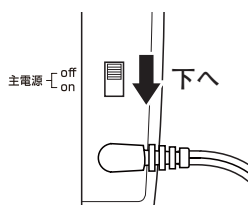
工場出荷時にはすでに電池がセットされていますが、放電しないようにプラスチック製の保護シートがはさまれています。ご使用の前に保護シートを丁寧に引き出してください。
また、電池を交換するときは、次の手順で交換してください。

1. 電池ホルダーを外す
2. 極性（＋／－）に注意して電池を入れる
3. 電池ホルダーを元に戻す

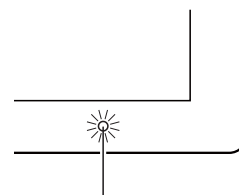
矢印の方向へ押して引きだします。

電池は**CR2025**をご使用ください。

⑦ 電源をオンにする

電源をオンにするには次の２パターンがあります。

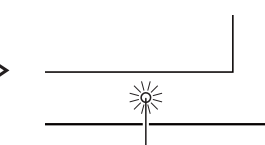
主電源がオフの場合

主電源をオンにする

主電源がオン（スタンバイ）の場合

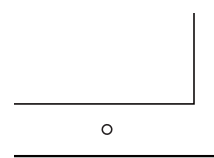
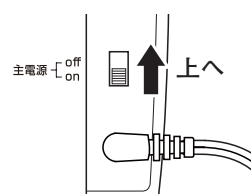
電源ボタンを押す

電源ランプが緑色に点灯し、電源がオンになります。

注意 ・画面が表示されるまでに10 ～ 15秒ほどお待ちください。

電源をオフにする（スタンバイ状態）

電源ボタンを押す。

電源ランプが赤色に点灯します。

注意 ・電源ランプが赤色になっても、内部処理を行っている場合はすぐに電源を入れなおしても反応しません。しばらく待ってから操作してください。

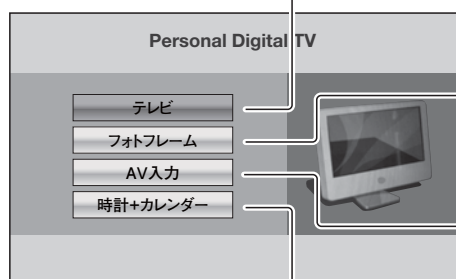
主電源をオフにする

主電源スイッチをoffへ

電源ランプが消灯します。

注意 ・主電源をオフにすると電子番組表（EPG）の自動取得や番組予約、アラーム、自動電源オン/オフは実行されません。

⑧ 機能を切り換える

メニュー画面で機能を切り換えることができます。

機能切換ボタンを押す。

上下ボタンで選択し、
「決定」ボタンで選択します。

テレビモード
- ・チャンネルを設定する（7ページ）
- ・テレビを観る（8ページ）
- ・便利な機能（9ページ）

フォトフレームモード
- ・フォトフレームとして使用する（10ページ）
- ・いろいろな再生（11ページ）

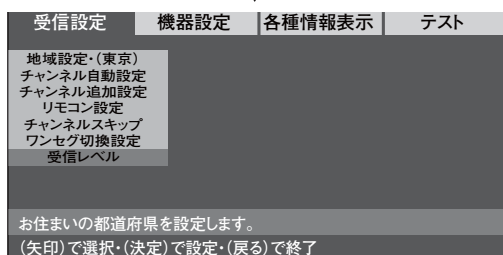
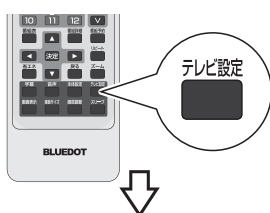
AV入力モード
- ・外部入力の映像を表示する（12ページ）

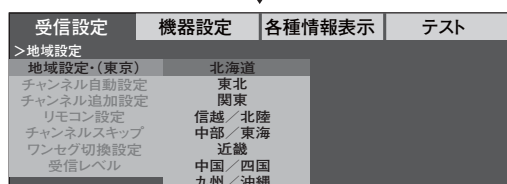
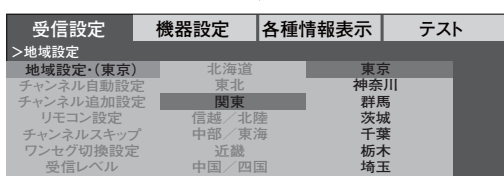
時計+カレンダーモード
- ・時計/カレンダーを表示する（13ページ）

⑨ チャンネルを設定する

1 機能切換メニューにて「テレビ」を選び「決定」ボタンを押す

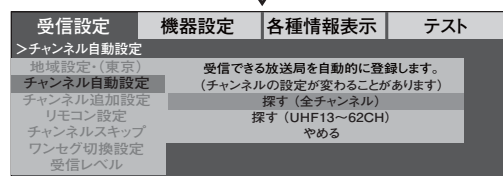
※ テレビが起動するまで、しばらくお待ちください。
※ ご購入直後は「チャンネル設定を行ってください」というメッセージが表示されます。

2 「テレビ設定」ボタンを押す

画面上にテレビ設定メニュー画面が表示されます。

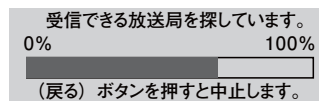
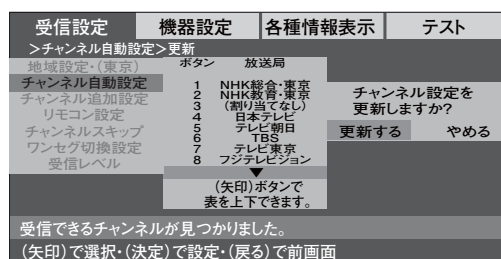
3 [受信設定]の[地域設定・(東京)]が選ばれていることを確認して、「決定」ボタンを押す

4 ▲▼ ボタンを押してお住まいの地域を選び、「決定」ボタンを押す

右上に続く

5 ▲▼ ボタンを押してお住まいの都道府県を選び、「決定」ボタンを押す

手順2の画面に戻ります。

6 ▲▼ ボタンを押して[チャンネル自動設定]を選び、「決定」ボタンを押す

7 [探す(全チャンネル)]を選び、「決定」ボタンを押す

[探す(UHF13~62CH)]を選んでUHF放送帯のみから探すこともできます。

初期スキャンが始まります。

8 受信できるチャンネルが表示されたら[更新する]を選び、「決定」ボタンを押す。

「戻る」ボタンを押すと放送受信画面になります。

これで初期設定は終了です。

注意 チャンネルが表示されない場合は、アンテナが正しく接続されているか、またアンテナケーブルに地上デジタル放送の信号が来ているか、受信レベルは十分かご確認ください(17ページ参照)。

⑩ テレビを観る

電源をオン / オフする

※ テレビが起動するまで、しばらくお待ちください。機能切換メニューが表示された場合は「テレビ」を選びます。
※ ご購入直後は「チャンネル設定を行ってください。」というメッセージが表示されます。前のページを参照して、初期設定を行ってください。
※ オフにしたとき、本機はスタンバイ状態(待機状態)になります。(主電源を完全にオフにする方法は6ページを参照。)

音量を調整する

音量ボタンを使って音量を調整します。
消音ボタンを押すと音声を消すことができます。

チャンネルを切り換える

チャンネル番号を直接押すか、選局ボタンを使ってチャンネルを切り換えます。

※ **チャンネルが割り当てられていない番号を押しても「このボタンはチャンネル登録されていません」と表示され、チャンネルは切り換わりません。**

字幕表示を切り換える
第2音声に切り換える

字幕のある番組では、ボタンを押すごとに表示 / 非表示を切り換えることができます。
第2音声が含まれている番組では、ボタンを押すごとに切り換えることができます。

番組表を表示する

番組表ボタンを1回押すと番組表を表示します。
もう一度ボタンを押すと表示が消えます。

番組情報を表示する

番組詳細ボタンを1回押すと番組の情報を表示します。もう一度ボタンを押すと表示が消えます。

注意

- **番組表データは電源オフ(スタンバイ)中に自動的に取得します。ただし、取得するためにはテレビモードの状態で電源オフ(スタンバイ)にする必要があります。**
- **電波状況が悪い、自動取得中に電源をオンにしたといった理由で番組表データが欠落する場合があります。また、ワンセグの放送局の番組データは自動取得できない場合があります。**

⑪ 便利な機能

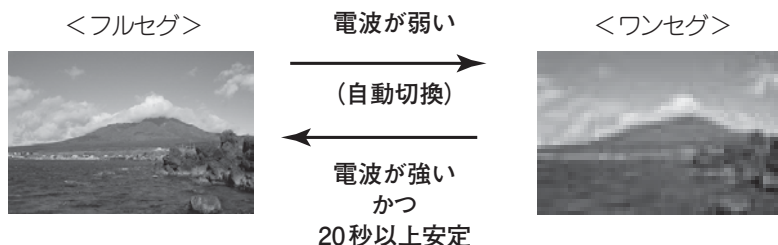
フルセグとワンセグを切り換える

電波状況に応じてフルセグとワンセグを切り換えます

<フルセグ>

電波が弱い →

（自動切換）

← 電波が強い かつ 20秒以上安定

<ワンセグ>

※ テレビ設定の「ワンセグ切換設定」にて「フルセグのみ受信」「ワンセグのみ受信」に切り換えることができます。
※ チャンネルごとに個別にフルセグとワンセグを設定することはでません。
※ 一度ワンセグモードに切り換えると、フルセグを受信可能な他のチャンネルも一旦ワンセグで受信し、電波が安定していればフルセグに切り換わります。

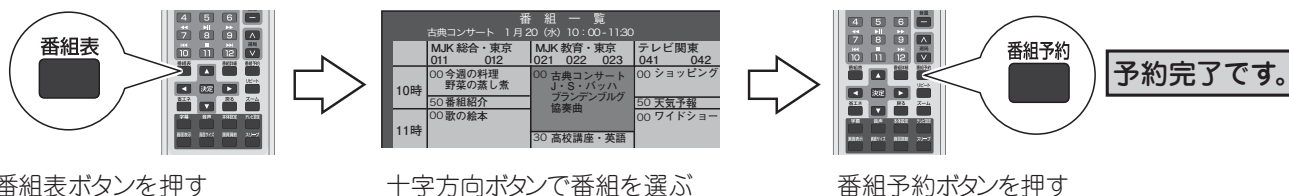
番組予約（視聴予約）を行う

指定した番組の開始時間の少し前に自動的に電源をオンにして、その番組を視聴することができます。

番組表ボタンを押す

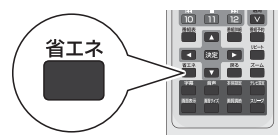
十字方向ボタンで番組を選ぶ

予約完了です。

番組予約ボタンを押す

※ 開始時間の数分前にテレビモードが起動し、番組が始まる直前にチャンネルが切り換わります。
※ 録画機能ではありません。
※ 1回につき1番組だけ予約できます。
※ 解除するときは、指定した番組をもう一度選択してください。

・番組予約はテレビ視聴中、またはテレビモードで電源オフ（スタンバイ）にした場合に有効です。主電源をオフにした場合や他モードで動作している場合は機能しません。

省エネモードを利用する

画面を消して音声だけを流し、消費電力を低減します。

※ ボタンを押すごとに表示モードが切り換わります。
オフ ： 標準の表示モードです。
オン ： 画面を消して音声だけを流します。

画面情報を表示する

番組名とチャンネル名を表示することができます。

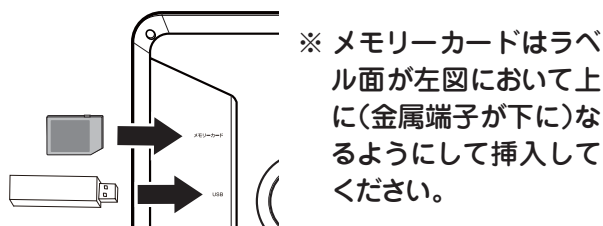
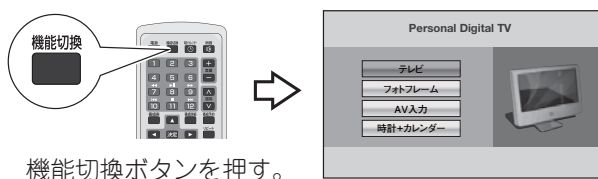
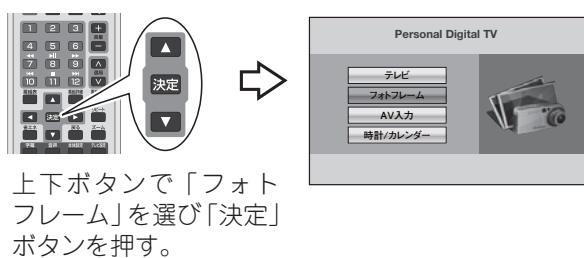
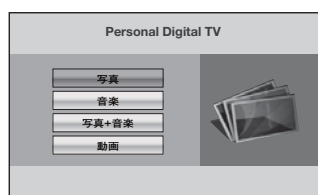
※ フォトフレームモードで写真またはビデオを再生しているときは、ファイル情報を表示します。

⑫ フォトフレームとして使用する

1 メディアを挿入する

※ メモリーカードはラベル面が左図において上に(金属端子が下に)なるようにして挿入してください。

2 機能切換メニューを呼び出す

機能切換ボタンを押す。

3 フォトフレームモードにする

上下ボタンで「フォトフレーム」を選び「決定」ボタンを押す。

4 再生するファイルの種類を選択する。

上下ボタンで再生するファイルの種類を選び「決定」ボタンを押す。

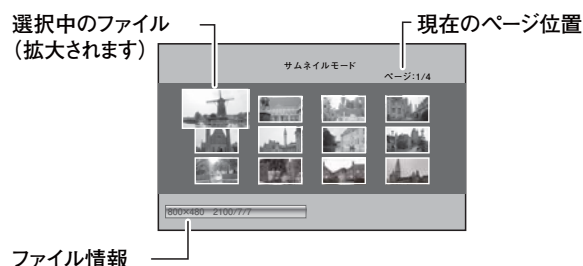
[写真]
メディア内の写真データをスライドショーで表示したり、ファイルを選択して再生したりします。

[音楽]
メディア内の音楽データを再生します。

[写真+音楽]
メディア内の音楽データを再生しながら写真データをスライドショーで表示します。

[動画]
メディア内の動画データを再生します。

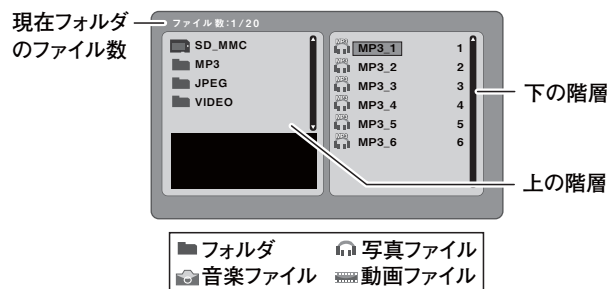
写真の再生方法

①「写真」を選ぶと自動的にスライドショー表示を開始します。
② スライドショー中に停止(■)ボタンを押すとメディア内の写真データをサムネイル(縮小)表示し、選択できます。

- 上下左右ボタンで選択し、「決定」ボタンで再生します。
- スキップ(⏮ / ⏭)ボタンでページを移動できます。

※ 本体設定でスライドショーによる自動再生をオフにすることができます。

※ ファイル選択画面(閲覧モード)は本体設定でサムネイルのほか、ファイルマネージャー(音楽/動画と同じもの)を選ぶことができます。

音楽・動画の再生方法

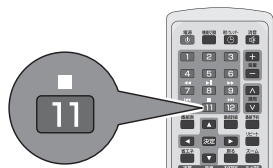
「音楽」または「動画」を選ぶとファイル選択画面(ファイルマネージャー)が表示されます。

- 画面の左にはフォルダの上の階層、右には下の階層を表示します。上下左右および、「決定」ボタンでフォルダを移動し、ファイルを選択します。
- 「決定」ボタンでファイルを再生します。
- 「上へ」で上の階層へ移動します。

※ 本体設定で自動再生をオンにすることができます。

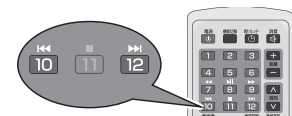
⑬ いろいろな再生

一時停止/停止する 写真 音楽 動画

再生/一時停止ボタンを押す。
（もう一度押すと通常再生に戻ります。）

停止ボタンを押す。

※ 停止すると、ファイル選択画面に戻ります。
※ 機能切換メニューに戻るには「機能切換」ボタンまたは「戻る」ボタンを押します。

前後のファイルを再生する（スキップ） 写真 音楽 動画

スキップボタンを押す。

※ 押すごとに、前後のファイルに移動します。
※ ファイルリピート中は、同じファイルを繰り返します。

早送り/早戻しする 音楽 動画

サーチボタンを押す。

※ 押すごとに、再生速度が変わります。
（倍速数は目安です。）
※ 再生ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

画像を90度回転する 写真

左または**右**ボタンを押す。

※ 左ボタンを押すごとに左へ、右ボタンを押すごとに右へ90度回転します。

画像を反転（フリップ）する 写真

上または**下**ボタンを押す。

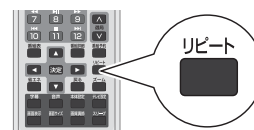
※ 上ボタンを押すごとに水平に、下ボタンを押すごとに垂直に画像が反転します。

画像を拡大する（ズーム） 写真 動画

ズームボタンを押す。

※ 押すごとに、ズーム倍率が変わります。
※ ズーム中は、一時停止の状態になります。
※ ズーム中に上下左右ボタンを押すと拡大する位置を移動できます。
※ 再生ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

リピートを切り換える 写真 音楽 動画

リピートボタンを押す。

※ 押すごとに、次のように切り換わります。

→ファイル→フォルダ→すべて→オフ→（ファイルに戻る）

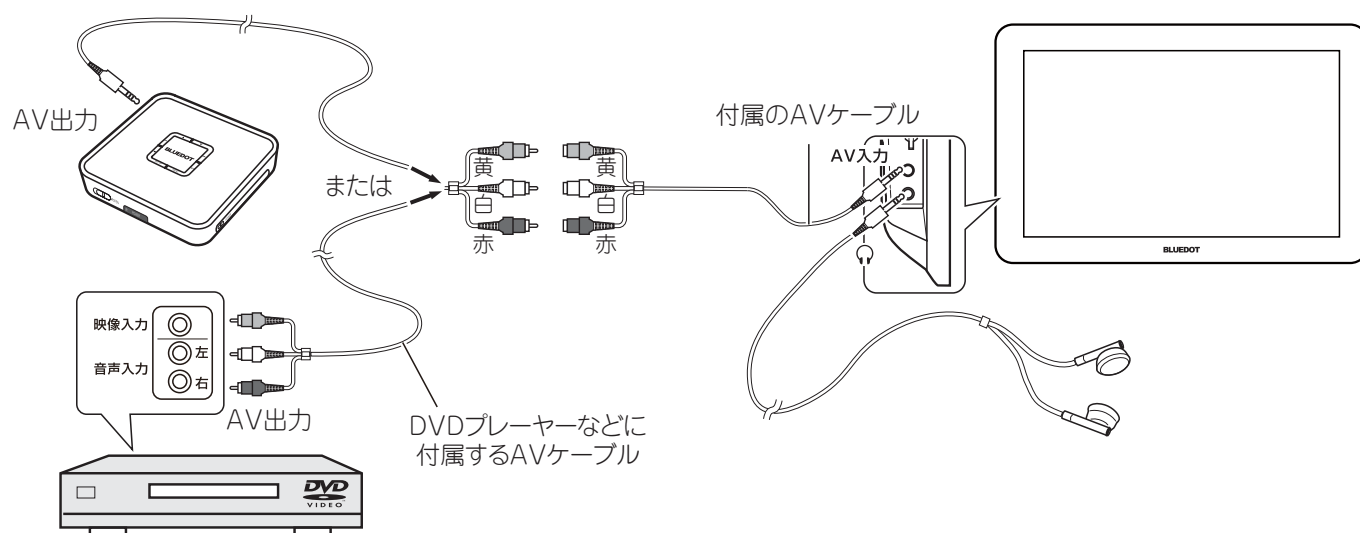
⑭ 対応フォーマット

対応フォーマット一覧

種類	フォーマット	拡張子	最大解像度	最大ビットレート
写真	JPEG	.jpg	14592 × 12288	-
動画	MPEG-1	.mpg .mpeg	720 × 480 @ 30fps	8Mbps
	MPEG-2	.mpg .mpeg	720 × 480 @ 30fps	8Mbps
	MPEG-4*	.avi .mp4	720 × 480 @ 30fps	8Mbps
	Motion JPEG	.avi .mov	640 × 480 @ 30fps	8Mbps
音楽	MP3	.mp3	-	32K ～ 320Kbps

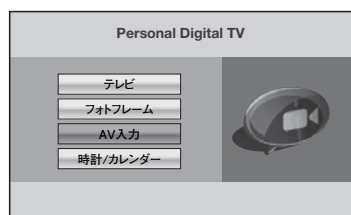
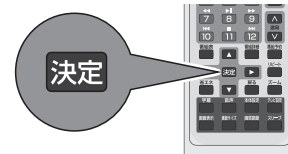
* H.264 には非対応。

※ 上記条件件であっても、メディアとの相性やメディアの転送速度、データ構造などによっては再生できない、または正常に再生できない場合があります。

⑮ 外部入力の映像を表示する

※ 節電のため、3 分間映像信号が入力されないと本機の電源が自動的にオフになります。
本体設定でこの設定(無信号オフ)をオフにすることもできます。

※ 外部機器と接続するときは、本機と接続する機器の電源を切って、電源プラグを抜いてから行ってください。

AV 入力モードに切り換える

機能切換ボタンを押す。　上下ボタンで「AV 入力」を選ぶ。　決定ボタンを押す。

⑯ 時計 / カレンダーを表示する

画面全体に時計 / カレンダーを表示することができます。

時計 / カレンダーボタンを押す

または

※ もう一度、時計 / カレンダーボタンまたは戻るボタンを押すと、元のモードに戻ります。

時計 / カレンダーの種類を選ぶ

本体設定の「時計・カレンダー」で時計 / カレンダーのレイアウトを変更することができます。

※「デジタル時計」
「写真+カレンダー」
「時計 / カレンダー」
から選択できます。

⑰ タイマーを使用する

本機には４つのタイマー機能があります。

スリープ　　：指定時間後にオフにします。　アラーム　　：指定時刻にアラーム音でお知らせします。
自動電源オン：指定時刻に電源をオンにします。自動電源オフ：指定時刻に電源をオフにします。

※ 自動電源オンはテレビおよびAV入力のみ最後の状態で復帰します。
その他のモードでは機能切換メニューが表示されます。

スリープ時間をセットする

スリープボタンを押す

※ ボタンを押すごとに指定時間が変わります。

オフ→ 10 分→ 20 分→ 30分→ 60分→ 90分→ 120分→ 180分→ 240 分→オフ

アラーム / 自動電源オン・オフの時間をセットする

1 本体設定ボタンを押す

2 時刻をセットして「OK」を押す

3 各タイマーをオンにする

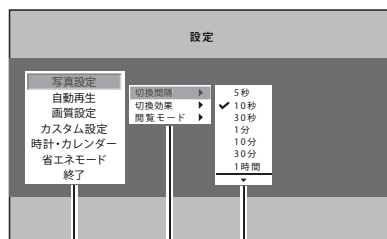
※ 上下方向 / 決定ボタンでそれぞれの項目をセットします。(操作方法は14、15ページ参照)

本体設定 → 時計・カレンダー → アラーム時刻設定 → アラームセット（オン・オフ） → 設定完了
→ 電源オン時刻設定 → 自動電源オン（オン・オフ）
→ 電源オフ時刻設定 → 自動電源オフ（オン・オフ）

⑱ 各種設定を行う

［本体設定］をする

本体設定ボタンを押す。

本体設定メニューが表示されます。

設定項目
メインメニュー　選択項目

▲▼ボタンで内容を選択し、
◀▶ボタンで項目を移動します。
「決定」ボタンで設定します。

注意 ・本体設定はテレビおよびAVモードでは呼び出せません。機能切換メニューに戻って呼び出してください。

［本体設定］で設定できる項目

メインメニュー	設定項目	説明
写真設定	切換間隔	スライドショーの表示間隔を切り換えます。 ［選択項目］：5秒、10秒、30秒、1分、10分、30分、1時間、6時間、12時間、オフ
	切換効果	スライドショーの切換効果を選択します。 ［選択項目］：効果なし、ブラインド（垂直／水平）、カラーレイション（垂直／水平）、ブロック1 ～ 9、フェードイン・アウト、ランダム
	表示方式	画面に合わせて写真全体を表示するか、画面いっぱいに拡大表示するかを切り換えます。 ［選択項目］：画面に合わせる、全画面表示
	閲覧モード	ファイル選択画面のレイアウトを切り換えます。 ［選択項目］：サムネイル、ファイルマネージャー
自動再生	写真	フォトフレームモードで「写真」を選択したとき、自動再生を始めるか否かを選択します。 ［選択項目］：オン、オフ
	音楽	フォトフレームモードで「音楽」を選択したとき、自動再生を始めるか否かを選択します。 ［選択項目］：オン、オフ
	動画	フォトフレームモードで「動画」を選択したとき、自動再生を始めるか否かを選択します。 ［選択項目］：オン、オフ
時計・カレンダー	レイアウト	時計＋カレンダーモードで表示するレイアウトの種類を切り換えることができます。 ［選択項目］：デジタル時計、時計＋カレンダー、写真＋カレンダー
	時刻の設定	本体の時刻を設定します。 ※ 左右ボタンで時・分・秒を移動し、上下ボタンで数字を変更します。秒数を設定後に右ボタンを押すとカーソルが下に移動し、左右ボタンで「OK」または「取消」を選択できます。「OK」を選ぶと時刻が設定されます。
	日付の設定	本体の日付を設定します。 ※ 左右ボタンで年・月・日を移動し、上下ボタンで数字を変更します。日付を設定後に右ボタンを押すとカーソルが下に移動し、左右ボタンで「OK」または「取消」を選択できます。「OK」を選ぶと時刻が設定されます。

⑱ 各種設定を行う（続き）

時計･カレンダー（続き）	アラーム時刻設定	アラームの時刻を設定します。 ※ 左右ボタンで時･分を移動し、上下ボタンで数字を変更します。分数を設定後に右ボタンを押すとカーソルが下に移動し、左右ボタンで「OK」または「取消」を選択できます。「OK」を選ぶと時刻が設定されます。
	アラームセット	アラームを有効にするか無効にするかを切り換えます。 ［選択項目］：オン、オフ
	電源オン時刻設定	自動で電源をオンにする時刻を設定します。 ※ 左右ボタンで時･分を移動し、上下ボタンで数字を変更します。分数を設定後に右ボタンを押すとカーソルが下に移動し、左右ボタンで「OK」または「取消」を選択できます。「OK」を選ぶと時刻が設定されます。
	自動電源オン	自動電源オンを有効にするか無効にするかを切り換えます ［選択項目］：オン、オフ
	電源オフ時刻設定	自動で電源をオフにする時刻を設定します。 ※ 左右ボタンで時･分を移動し、上下ボタンで数字を変更します。分数を設定後に右ボタンを押すとカーソルが下に移動し、左右ボタンで「OK」または「取消」を選択できます。「OK」を選ぶと時刻が設定されます。
	自動電源オフ	自動電源オフを有効にするか無効にするかを切り換えます ［選択項目］：オン、オフ
節電モード	無信号オフ	テレビモードおよびAV入力モードで映像信号のない状態で3分間が過ぎたときに、電源を自動的にオフするかどうかを切り換えます。 ［選択項目］：オン、オフ
その他設定	OSD言語	メニュー画面の表示を日本語または英語（English）に切り換えます。 ［選択項目］：英語、日本語
	文字コード	文字コードを地域に応じて変更します。 ［選択項目］：西ヨーロッパ、中央ヨーロッパ、Unicode、シフトJIS
	初期化	本体設定メニューで変更した項目を工場出荷状態に戻します。
終了		本体設定メニューを閉じます。

［画質調整］

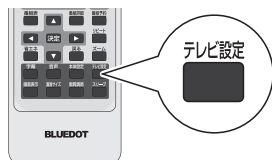
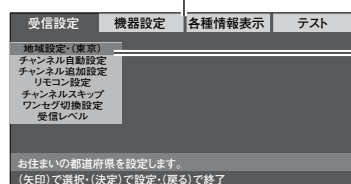
画質調整ボタンを押す。

「画質調節」ボタンを押すごとに設定項目が変わります。
▲▼ボタンで値を調節します。

※ テレビモードおよびAV入力モードでは「明るさ」「コントラスト」「彩度」を調節できます。
フォトフレームモードでは「明るさ」「コントラスト」を調節できます。

⑱ 各種設定を行う（続き）

［テレビ設定］をする

テレビ設定ボタンを押す。

テレビ設定メニューが表示されます。

メインメニュー表示
メインメニューは ◀ ▶ ボタンで移動します。

設定項目
▲ ▼ ボタンで項目を移動
「決定」ボタンを押すと次の階層に移動します。ボタン操作ガイドに従って操作してください。

ボタン操作ガイド

［テレビ設定］で設定できる項目

メインメニュー	設定項目	説明
受信設定	地域設定	本機を使い始める前にお住まいの地域を設定します。
	チャンネル自動設定	お住まいの地域設定に合わせて受信できるチャンネルを自動的に設定します。
	チャンネル追加設定	放送局の追加をするときに再設定します。
	リモコン設定	リモコン番号を選んで、お好きな放送局を割り当てます。
	チャンネルスキップ	普段視聴しない放送局はリモコンで選局をスキップするように設定できます。
	ワンセグ切換設定	フルセグまたはワンセグのみを受信するか、電波状況によって自動的に切り換えるかを設定します。 ［選択項目］：フルセグのみ受信、ワンセグのみ受信、自動切換
	受信レベル	チャンネルを選ぶと受信強度を表示させます。
機器設定	暗証番号	暗証番号を設定します。暗証番号は［テレビ設定］メニューで設定した内容を工場出荷状態に戻すときに必要になります。暗証番号を忘れると元に戻せませんので忘れないようにしてください。 **［設定（更新）方法］** ① ［テレビ設定］ボタンを押し、テレビ設定メインメニュー画面から ◀ ▶ ボタンを押して［機器設定］を選択。 ② ▼ ▲ ボタンを押して［暗証番号］を選択し、「決定」ボタンを押す。 ③ ［更新する］を選び「決定」ボタンを押す。 暗証番号入力画面が表示されますので、数字ボタンですでに設定してある暗証番号（工場出荷時は9999）を入力します。 暗証番号が合っているときは「新しい暗証番号を入力してください」と表示されますので、数字ボタンで新しく設定する4桁の暗証番号を入力し、「決定」ボタンを押すと新番号が登録されます。
	字幕・文字スーパー	字幕と文字スーパーの表示を切り換えます。（字幕・文字スーパーとは画面にはじめから表示されているテロップとは異なり、放送局から文字データとして送信されるもので、番組によっては送信されていない場合もあります。） ［選択項目］：なし、第1言語、第2言語
	音声切換	音声出力を切り換えます。番組によって副音声を送信していない場合もあります。その場合はステレオ、モノラル（主音声のみ）になります。 ［選択項目］：主音声、副音声、主＋副（主音声と副音声を同時に出力）
	番組表取得設定	放送局から送られてくる番組表を取得するかしないかの設定をします。 ［選択項目］：取得する、取得しない
各種情報表示	B-CAS情報	お使いのB-CASカードの情報を表示します。
	バージョン情報	お使いの機器のソフトウエアバージョンを表示します。
	放送メール	放送局から送られてくるメール情報や、本機の更新情報などを表示します。
テスト	B-CASテスト	B-CASカードの働きをテストします。
	全設定消去	お客様が［テレビ設定］メニューで設定した内容をすべて工場出荷状態に戻します。 はじめに4桁の暗証番号を入力します。（工場出荷時は9999）

故障かな？と思ったら

テレビが映らない

・本機の電源または主電源がオンになっているかご確認ください。

・AV入力モード（外部入力モード）になっていないかご確認ください。

・アンテナケーブルがきちんと接続されているか、ケーブルが破損していないかご確認ください。

・チャンネルが正しく設定されていない可能性があります。再度チャンネル設定を行ってください。

・受信レベルが低すぎるか高すぎる可能性があります。下記の手順で受信レベルを表示してご確認ください。フルセグの場合は60％以上、ワンセグの場合は35％以上が推奨値です。

▶ 分配器をご利用の場合は、外して直接接続してみてください。

▶ 増幅器（ブースター）または減衰器（アッテネーター）を利用すれば受信レベルを改善できる場合があります。

※ 特に放送局から遠く離れている場合や、室内アンテナをご利用の場合など、受信レベルが低いと正常に受信できない場合があります。

・UHFアンテナが設置されているか、アンテナの向きが正しいかご確認ください。

・ケーブルテレビにて地上デジタル放送を再送信されている場合、ケーブルテレビ局に「CATVパススルー方式」で送信しているかどうかご確認ください。

・省エネモード（消画モード）になっていないかご確認ください。

電源が入らない

・ACアダプターがコンセントおよび本体に正しく接続されているかご確認ください。

・主電源がオフになっていないかご確認ください。

・リモコンの電池が消耗していないかご確認ください。

映像が乱れたり途切れたりする

・受信レベルが低いときや不安定なときは、映像がモザイク状に乱れたり途切れたりすることがあります。下記の手順で受信レベルを表示してご確認ください。

・受信レベルが低く自動的にワンセグに切り換わると画質や動きの滑らかさが低下します。

・外部機器との接続が正しく行われているかご確認ください。

・元の映像データ自体に問題がないかご確認ください。

ワンセグに勝手に切り換わる

・受信レベルが低いチャンネルを視聴すると自動的にワンセグに切り換わります。フルセグのみを受信したい場合は「テレビ設定」の「ワンセグ切換設定」から「フルセグのみ受信」を選んでください。なお、チャンネル別に「ワンセグのみ受信」と「フルセグのみ受信」を設定することはできません。

受信レベルの確認方法

① テレビモードにてリモコンの「テレビ設定」ボタンを押す

② [受信設定]の項目から▼ ▲ ボタンを押して[受信レベル]を選び、「決定」ボタンを押す

受信設定 機器設定 各種情報表示 テスト
＞受信レベル
表示するチャンネルを選んでください

ボタン	3桁CH	放送局	物理CH
1	011	NHK総合・東京	27
2	021	NHK教育・東京	26
4	041	日本テレビ	25
6	061	TBS	22
8	081	フジテレビジョン	21
5	051	テレビ朝日	24

③ ▼ ▲ ボタンを押して確認したいチャンネルを選び、「決定」ボタンを押す

故障かな？と思ったら（続き）

音声が出ない

- 音量がゼロまたは小音量になっていないかご確認ください。
- 消音状態になっていないかご確認ください。
- ヘッドホンが接続されていないかご確認ください。

リモコンが効かない

- リモコンの電池が消耗していないかご確認ください。
- リモコンの電池の向き（極性）が正しいかご確認ください。
- 主電源がオフになっていないかご確認ください。
- リモコンの信号が正しく受信されていない可能性があります。リモコンはテレビ正面方向から操作してください。
- 本機内部で処理が行われている場合、一時的に操作を受け付けないことがあります。しばらく待ってから操作してください。

番組表を取得できない

- チャンネル設定直後は番組表を取得していないため表示されません。
- ワンセグのみ受信可能な放送局など受信レベルの低い放送局のデータは取得できないことがあります。
- 番組表データを自動取得するためには、テレビモードで電源オフ（スタンバイ）にする必要があります。

番組予約（視聴予約）が機能しない

- 番組予約を設定しているときは、指定した時間の数分前に本機の電源がオンになりますが、最初は前回視聴していたチャンネルが表示されます。指定した時間の直前に、自動的にチャンネルが切り換わります。
- 番組予約にてテレビを自動的に起動するためには、テレビモードで電源オフ（スタンバイ）にする必要があります。

勝手に電源が入る / 切れる

- 番組予約やアラーム、自動電源オンが設定されているときは、指定時間になると本機の電源がオンになります。自動電源オフや節電モードの無信号オフを有効にしていると、指定時間になると本機の電源がオフになります。

再生したいファイルが表示されない

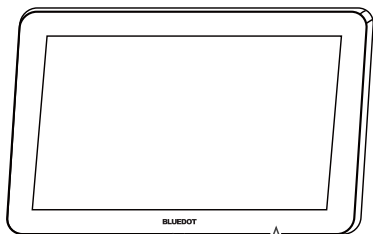
- 本機がサポートしている規格のファイルかどうかご確認ください。
- パソコンで隠しファイル属性にされているファイルやフォルダは表示されません。

再生したいメディアが認識されない

- メモリーカードが正しい向きで挿入されているかご確認ください。
- メモリーカードが正しくフォーマットされているかご確認ください。
- USB接続のハードディスクは、電力供給の関係上正しく動作しないことがあります。
- NTFSやexFATなど本機が対応していない形式でフォーマットされているメディアは認識できません。
- すべてのメモリーカードやUSB機器の動作を保証するものではありません。

ファイルが正しく再生できない

- 本機がサポートしている規格のファイルかどうかご確認ください。パソコンで編集したファイルは再生できないことがあります。
- 動画ファイルやメモリーカードの転送速度によっては、再生中にコマ落ちする場合があります。

本機の電源状態について

状態	説明
電源オン	映像および音声が出力されます。 電源ランプは「緑色」に点灯します。
電源オフ （スタンバイ）	映像および音声は出力されません。 電源ボタン以外の操作は受け付けません。 電源ランプは「赤色」に点灯します。
主電源オフ	すべてのボタン操作を受け付けません。 電源ランプは消灯します。

製品仕様

型名	BTV-1020
受信機型サイズ	10V型 LEDバックライト採用
画面サイズ(幅×高×対角)	22.0 × 13.2 × 25.6cm
画面画素数(水平×垂直)	800 × 480画素 ワイドVGA
放送方式	UHF : 13ch ～ 62ch (ISDB-T地上デジタル放送)
外形寸法(幅×高×奥行)	269 × 174 × 35mm (スタンド含まず) ※スタンド使用時の本体設置面積は最大269×108mm
本体質量	約0.7kg (スタンド含む)
電源	入力 : AC 100V 50/60Hz 出力 : DC 12V 1.0A ※専用ACアダプターを付属
消費電力	最大時 : 約13.5W 通常視聴時 : 約10.3W (弊社実測値) 待機時 : 約0.9W
年間消費電力量	約20kWh/年
スピーカー出力	1W × 2
入出力端子	AV入力(コンポジット)× 1、 ヘッドホン出力× 1、 メモリーカードスロット × 1、 USB端子× 1、 アンテナ入力(F型、インピーダンス 75 Ω)× 1、 電源入力× 1、 miniB-CASカードスロット × 1

※BSデジタル放送、110度CSデジタル放送には対応していません。
※データ放送や双方向サービスには対応していません。
※CATVパススルーに対応しています。

困ったときは

本書をお読みいただいても問題が解決しないときは、まずはホームページの『FAQ（よくあるご質問と答え）』をご活用ください。

http://www.bluedot.co.jp/support/

BLUEDOT® 株式会社

〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台2-3-1

E-mail：info@bluedot.co.jp

http://www.bluedot.co.jp

お客様サポートセンター

TEL：0570-010080（ナビダイヤル）

※ナビダイヤルをご利用になれない場合は043-295-8882まで

FAX：043-295-8852

E-mail：support@bluedot.co.jp

ご利用時間：午前10時から午後5時まで（土・日・祝日・会社指定休日を除く）

1109B